

## 7 景観形成基準の解説

### (1) 景観形成基準における景観形成の方向性について

#### ◆自然ゾーン

##### 山岳自然景観

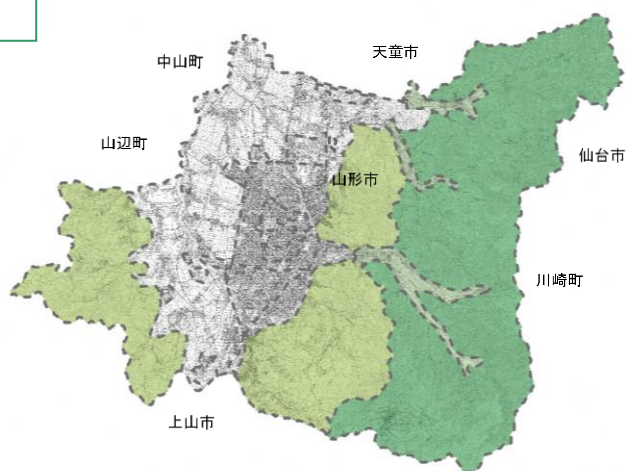
- 自然の地形や自然林を生かした景観を創出すること。
- 貴重な自然景観を保全すること。
- 山並みの稜線や調和を妨げないこと。

##### 谷地自然景観

- 谷地の、ふるさととしての情緒的な景観を創出すること。
- 周囲の自然景観を保全し、自然と調和した生活の場の創出を図ること。

##### 山麓自然景観

- 身近で親しみやすい自然景観としての山麓景観を保全・創出すること。
- 山並みの稜線や調和を妨げないこと。



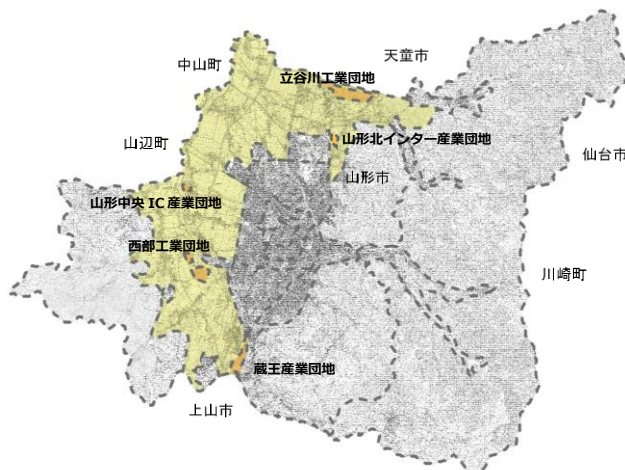
#### ◆田園ゾーン

##### 果樹・田園景観

- 自然や伝統、地域に残る歴史的な景観資産を生かした景観を創出すること。
- 緑豊かな田園景観の保全と活用を図ること。
- 既存集落の景観の連続性やまとまりに配慮すること。

##### 田園内産業景観

- 周囲の果樹園や田園と調和した良好な景観を創出すること。
- 果樹園や田園、山並みののびやかな広がりのある田園景観に配慮すること。



## ◆市街地ゾーン

### 中心市街地景観

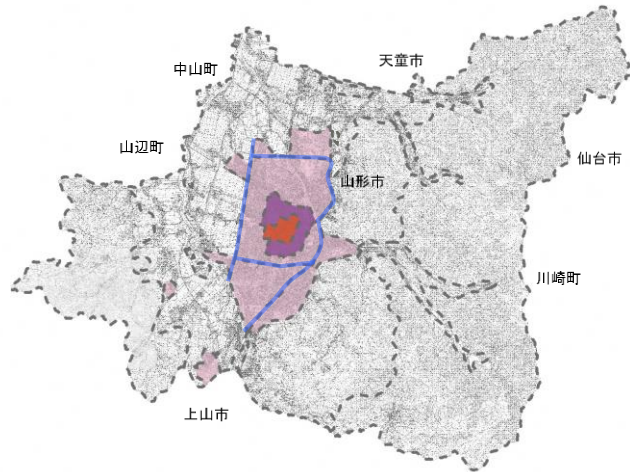
- 山形市の顔としての先進性と賑わいあふれる景観を創出すること。
- 残存する歴史的建造物や石積の水路等の歴史の多様性を生かした景観を創出すること。
- 歩行空間の賑わいの創出のため、ホスピタリティ表現（おもてなしの心）に配慮すること。

### 沿道商業景観

- 屋外広告物と連携し、節度ある賑わいの景観を創出すること。
- 地域の個性を高め、機能的な沿道景観を創出すること。

### 伝統市街地景観

- 社寺や歴史的建造物の趣を生かし、歴史的景観を向上させること。
- 社寺等の緑を生かした景観を創出すること。



### 市街地住宅景観

- 緑豊かで落ち着いた住宅地景観を創出すること。
- 自然や周囲を取り巻く環境との調和を図ること。

## (2) 景観形成基準の項目別解説

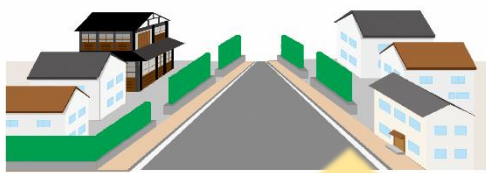
### 1) 建築物の新築、増築、改築若しくは移転、外観を変更することとなる修繕若しくは模様替又は色彩の変更

#### ① 配置・規模

##### ◆ 周辺環境への配慮

山岳自然	山麓自然	谷地自然	果樹・田園	田園内産業	中心市街地	伝統市街地	沿道商業	市街地住宅
■ 自然の地形を生かし、できるだけ土地の改変を避けるとともに、高低差を生かした配置とすること。								
山岳自然	山麓自然	谷地自然	果樹・田園	田園内産業	中心市街地	伝統市街地	沿道商業	市街地住宅
■ 既存の集落の家並みの連続性に配慮し、周辺の景観と調和させた配置とすること。								
山岳自然	山麓自然	谷地自然	果樹・田園	田園内産業	中心市街地	伝統市街地	沿道商業	市街地住宅
■ 田園と山並みののびやかな広がりのある田園景観に配慮し、周辺の景観と調和させた配置とすること。								
山岳自然	山麓自然	谷地自然	果樹・田園	田園内産業	中心市街地	伝統市街地	沿道商業	市街地住宅
■ 周囲の建築物との連続性に配慮し、周囲の建築物と調和する配置とすること。								
山岳自然	山麓自然	谷地自然	果樹・田園	田園内産業	中心市街地	伝統市街地	沿道商業	市街地住宅
■ 周囲の住宅地との連続性に配慮し、一体感のある配置とすること。								

#### 【解説】



・ 周囲の建築物との連続性が失われている



・ まちなみの連続性が感じられ、周辺の景観との調和がとれている

##### ◆ 自然環境への配慮

山岳自然	山麓自然	谷地自然	果樹・田園	田園内産業	中心市街地	伝統市街地	沿道商業	市街地住宅
■ 敷地内に大木や古木、良好な樹林、水辺等がある場合には、これらに配慮した配置とすること。								

【解説】



・古木が建築物に隠れてしまい、良さが生かされていない



・古木を生かし、配置を工夫している

◆ 歴史的まちなみへの配慮



■ 歴史的に継承された町割り・地割を生かし、地域全体としてまとまりのある配置となるように努めること。

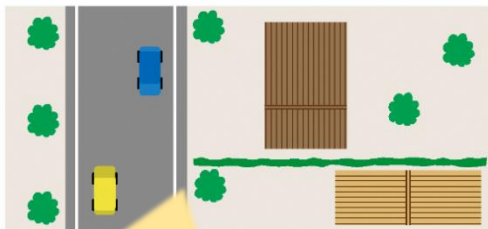


■ 歴史的景観を損なわないよう、既存の歴史的建造物と適正距離を考慮した配置となるように努めること。

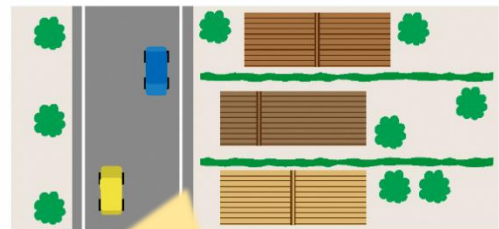


■ 歴史的建造物が連続した景観に埋没しないような配置となるように努めること。

【解説】



・町割り・地割を無視した配置としており、ちぐはぐなまちなみになっている



・町割り・地割を生かしたまとまりのある配置となっている



・歴史的建造物が埋没してしまっている



・歴史的建造物との適正距離を考慮し、埋没しないよう配慮されている

◆ 壁面

- 山岳自然
- 山麓自然
- 谷地自然
- 果樹・田園
- 田園内産業
- 中心市街地
- 伝統市街地
- 沿道商業
- 市街地住宅

■ 建築物等の壁面線は、できるだけ道路境界線や隣地境界線から後退させ、ゆとり空間を確保すること。

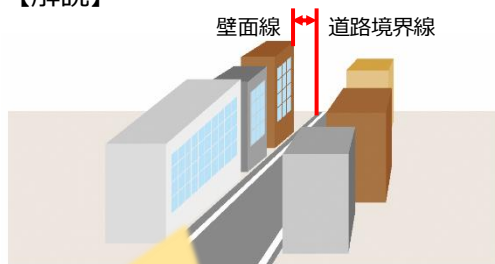
- 山岳自然
- 山麓自然
- 谷地自然
- 果樹・田園
- 田園内産業
- 中心市街地
- 伝統市街地
- 沿道商業
- 市街地住宅

■ 歩道への圧迫感を抑え、オープンスペースの確保に努めること。

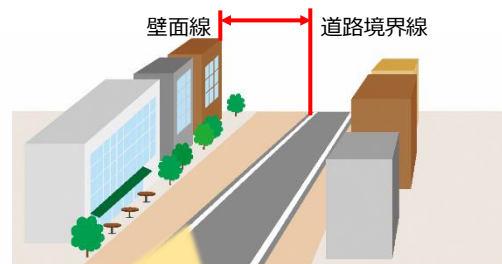
- 山岳自然
- 山麓自然
- 谷地自然
- 果樹・田園
- 田園内産業
- 中心市街地
- 伝統市街地
- 沿道商業
- 市街地住宅

■ 歴史的まちなみの残る場所においては、周辺の建築物の配置に調和させ、壁面線の統一に配慮すること。

【解説】



・ 壁面線と道路境界線にゆとりがなく、歩道への圧迫感がある



・ 壁面線と道路境界線の間、オープンスペースを確保し、また、緑化により潤いのある歩行空間を創出している



・ 壁面線が統一されておらず、ちぐはぐなまちなみとなっている



・ 壁面線の統一が図られ、まちなみの調和が感じられる

◆ 高さ（眺望への配慮）

山岳自然	山麓自然	谷地自然	果樹・田園	田園内産業	中心市街地	伝統市街地	沿道商業	市街地住宅
------	------	------	-------	-------	-------	-------	------	-------

■ 周囲からできるだけ目立たないような位置に配置し、周囲の山並みや山岳景観との調和に配慮すること。

山岳自然	山麓自然	谷地自然	果樹・田園	田園内産業	中心市街地	伝統市街地	沿道商業	市街地住宅
------	------	------	-------	-------	-------	-------	------	-------

■ 背後の山並み、丘陵地の稜線への眺望を阻害しない配置とすること。

山岳自然	山麓自然	谷地自然	果樹・田園	田園内産業	中心市街地	伝統市街地	沿道商業	市街地住宅
------	------	------	-------	-------	-------	-------	------	-------

■ 背後の山並みと谷地地形や集落が醸し出す景観のバランスを損なわないように配慮すること。

山岳自然	山麓自然	谷地自然	果樹・田園	田園内産業	中心市街地	伝統市街地	沿道商業	市街地住宅
------	------	------	-------	-------	-------	-------	------	-------

■ 田園と山並みののびやかな広がりのある田園景観を阻害しない高さとなるように配慮すること。

山岳自然	山麓自然	谷地自然	果樹・田園	田園内産業	中心市街地	伝統市街地	沿道商業	市街地住宅
------	------	------	-------	-------	-------	-------	------	-------

■ 背景となる山麓の稜線に配慮すること。

【解説】



・ 高層建築物が背景となる山並みの眺望を阻害している



・ 山並みの眺望に配慮した高さとし、山稜線を意識した勾配屋根を採用している

◆ 高さ（周辺への配慮）

山岳自然	山麓自然	谷地自然	果樹・田園	田園内産業	中心市街地	伝統市街地	沿道商業	市街地住宅
------	------	------	-------	-------	-------	-------	------	-------

■ 周辺の自然環境に対して、著しく突出しない高さとなるよう配慮すること。

山岳自然	山麓自然	谷地自然	果樹・田園	田園内産業	中心市街地	伝統市街地	沿道商業	市街地住宅
------	------	------	-------	-------	-------	-------	------	-------

■ 屋敷林や鎮守の森等、周囲の森林の高さを超えないように配慮すること。

山岳自然	山麓自然	谷地自然	果樹・田園	田園内産業	中心市街地	伝統市街地	沿道商業	市街地住宅
------	------	------	-------	-------	-------	-------	------	-------

■ 周囲のまちなみから突出しない高さ、建築物と敷地のバランスに配慮すること。

山岳自然	山麓自然	谷地自然	果樹・田園	田園内産業	中心市街地	伝統市街地	沿道商業	市街地住宅
------	------	------	-------	-------	-------	-------	------	-------

■ 個々の建築物の規模はできるだけコンパクトに抑え、圧迫感・威圧感を軽減すること。

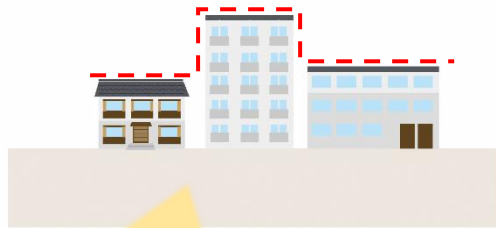
【解説】



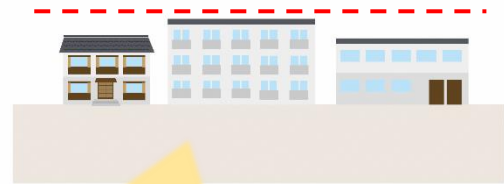
・高層建築物が周辺の木々などの自然環境に対して著しく突出し、景観を阻害している



・周辺の自然環境に配慮し、高さを抑えている



・周辺のまちなみから突出していて建築物と敷地のバランスに配慮されていない



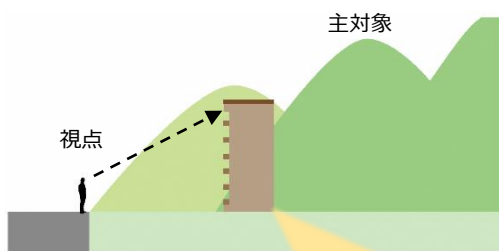
・周辺のまちなみに配慮し、高さを抑えている

◆ 眺望

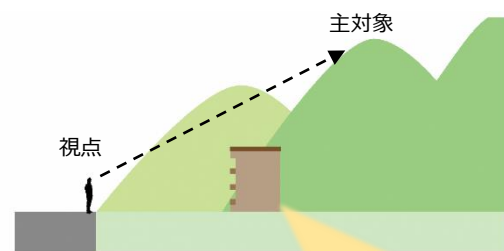
- 山岳自然
- 山麓自然
- 谷地自然
- 果樹・田園
- 田園内産業
- 中心市街地
- 伝統市街地
- 沿道商業
- 市街地住宅

- 保全対象の眺望景観における視点※<sup>1</sup>からの主対象※<sup>2</sup>の眺めを著しく阻害しないこと。
- 建築物の高さは、保全対象の眺望景観における視点と主対象の上端を結ぶ面を超えないようにする。やむを得ず超える場合は、当該建築物の位置、形態・意匠を保全対象の眺望景観全体と調和のとれたものとする。こと。（都市計画区域外又は市街化調整区域の土地の区域に限る。）

【解説】



・建築物が主対象の眺望を阻害している



・建築物の高さを抑え、主対象の眺望を確保している

※ 1 保全対象の眺望景観における視点……国道 13 号、国道 112 号、国道 286 号、国道 348 号、東北横断自動車道酒田線、東北中央自動車道、主要地方道山形永野線の道路端又は歩道端で 1.5mの高さ

※ 2 保全対象の眺望景観における主対象…月山、葉山、熊野岳、瀧山、雁戸山、面白山、大朝日岳

### 【主対象の眺望面と建築物の高さの関係性の確認方法】

- ① 視点の位置（緯度・経度・標高）及び主対象の位置を確認する。

※緯度・経度の概算値は『国土地理院Webサイト』の地図閲覧サービスで検索可能。GPS等を活用しても確認が可能。

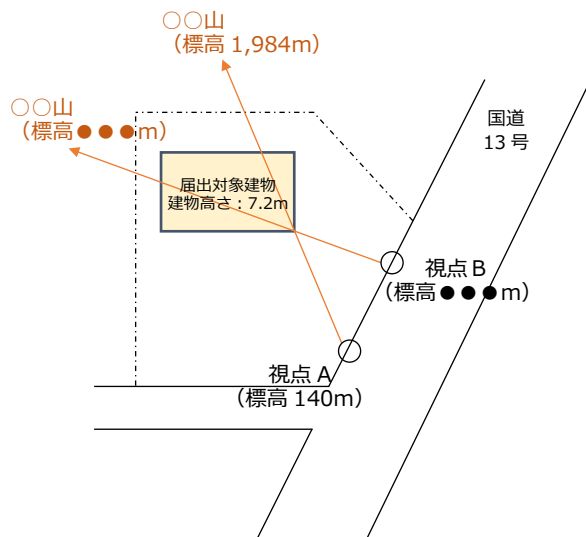
- ② ①で求めた緯度・経度から、主対象までの距離・方角を算出する。

※『国土地理院Webサイト』の「測量計算サイト」の「2 距離と方位角の計算」ページでデータを入力し検索する。

- ③ ①②で求めたデータから、配置図・断面図を作成し、眺望面と当該建築物の高さとの関係を検討する。  
 その上で、建築物の高さが眺望面を超えないことが確認できれば、眺望の景観形成基準を満たすものとする。

### 【図面作成等例】

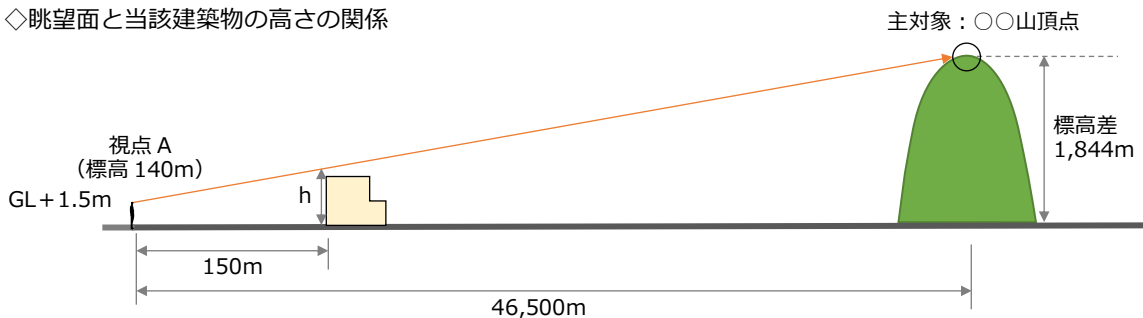
#### ◇配置図



(参考) 主対象の標高及び位置

主対象	標高 (m)	位置	
		緯度 (北緯)	経度 (東経)
月山	1,984	38°32'56"	140°01'37"
葉山	1,462	38°31'45"	140°12'38"
熊野岳	1,841	38°08'37"	140°26'24"
瀧山	1,362	38°10'58"	140°23'41"
雁戸山	1,484	38°11'56"	140°28'38"
面白山	1,264	38°20'55"	140°31'19"
大朝日岳	1,871	38°15'38"	139°55'20"

#### ◇眺望面と当該建築物の高さの関係



眺望面の高さ (h)

$$\begin{aligned}
 &= \{ (【標高差 - 視点の高さ】 \times 【視点 A \sim 建物距離】) / 【視点 A \sim 山頂距離】 \} + 1.5 \\
 &= \{ (1,842.5 \times 150) / 46,500 \} + 1.5 \\
 &= 7.4 > 7.2\text{m (建物高さ)}
 \end{aligned}$$

⇒よって、建物の高さは眺望面を超えない





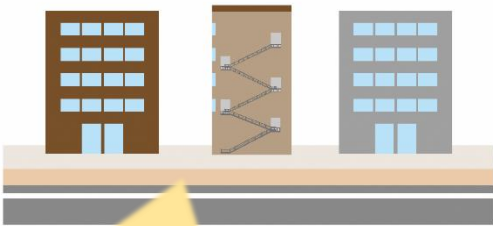



## ②形態・意匠

### ◆ 周辺との調和

山岳自然	山麓自然	谷地自然	果樹・田園	田園内産業	中心市街地	伝統市街地	沿道商業	市街地住宅
■ 周辺の自然環境に配慮し、違和感なく周辺景観と馴染むように配慮すること。								
山岳自然	山麓自然	谷地自然	果樹・田園	田園内産業	中心市街地	伝統市街地	沿道商業	市街地住宅
■ 集落やまちなみの統一感・連続性に配慮し、違和感なく周辺景観と馴染むように配慮すること。								
山岳自然	山麓自然	谷地自然	果樹・田園	田園内産業	中心市街地	伝統市街地	沿道商業	市街地住宅
■ 田園景観に異質な産業景観が、違和感なく周辺景観と馴染むように配慮すること。								
山岳自然	山麓自然	谷地自然	果樹・田園	田園内産業	中心市街地	伝統市街地	沿道商業	市街地住宅
■ 前面道路からの正面性に配慮し、周辺建築物との調和やまちなみの連続性に配慮すること。								

### 【解説】

 <p>・形態・意匠が奇抜で周辺環境と馴染んでいない</p>	▶	 <p>・落ち着いた形態・意匠とし、周辺の田園や背景の山並みに配慮している</p>
 <p>・形態・意匠が奇抜で周辺景観と馴染んでいない</p>	▶	 <p>・周囲の建築物の形態・意匠に配慮した、落ち着いた形態・意匠により、まちなみの調和が感じられる</p>
 <p>・前面道路からの正面性に配慮されておらず、まちなみの連続性が失われている</p>	▶	 <p>・前面道路からの正面性を考慮しており、まちなみの連続性が保たれている</p>

## ◆ 良好な景観との調和

山岳自然	山麓自然	谷地自然	果樹・田園	田園内産業	中心市街地	伝統市街地	沿道商業	市街地住宅
------	------	------	-------	-------	-------	-------	------	-------

■ 集落の伝統的な建築様式や地域特性を参考にし、継承又は一部意匠に取り入れるように努めること。

山岳自然	山麓自然	谷地自然	果樹・田園	田園内産業	中心市街地	伝統市街地	沿道商業	市街地住宅
------	------	------	-------	-------	-------	-------	------	-------

■ 入口周辺や前面道路側は、開放感のある形態・意匠とすること。

山岳自然	山麓自然	谷地自然	果樹・田園	田園内産業	中心市街地	伝統市街地	沿道商業	市街地住宅
------	------	------	-------	-------	-------	-------	------	-------

■ 低層階の形態・意匠については、開放感のある形態・意匠とする等、ホスピタリティ表現（おもてなしの心）を大切にし、歩行空間の賑わいの創出につなげること。

山岳自然	山麓自然	谷地自然	果樹・田園	田園内産業	中心市街地	伝統市街地	沿道商業	市街地住宅
------	------	------	-------	-------	-------	-------	------	-------

■ 社寺等の歴史的建造物に近接する場合は、これらの景観に違和感を与えないように配慮し、周辺で用いられている伝統的様式を取り入れた意匠となるよう努めること。

山岳自然	山麓自然	谷地自然	果樹・田園	田園内産業	中心市街地	伝統市街地	沿道商業	市街地住宅
------	------	------	-------	-------	-------	-------	------	-------

■ 単調な大壁面による圧迫感・威圧感を軽減するため、壁面の意匠の工夫に努めること。

山岳自然	山麓自然	谷地自然	果樹・田園	田園内産業	中心市街地	伝統市街地	沿道商業	市街地住宅
------	------	------	-------	-------	-------	-------	------	-------

■ 奇抜なものではなく、周辺の景観と調和し落ち着いたものとする。

### 【解説】



・ 周辺の形態・意匠に配慮されておらず、ちぐはぐなまちなみとなっている



・ 周辺の形態・意匠を取り入れた建築様式としており、まちなみの調和が感じられる



・ 来街者を呼び込むおもてなしの工夫がなく、殺伐とした歩行空間となっている



・ 建築物前面の緑化や暖簾の配置など、歩行空間の賑わい創出の工夫が見られる  
・ 正面の入り口を開放的なつくりにすることで、来街者を呼び込む工夫が見られる



・周辺の伝統的な建築物との調和が図られず、良好な景観を阻害している



・周辺の伝統的な建築物の形態・意匠との調和により、良好な景観を生かしたまちなみの創出が図られている



・長大で閉鎖的な壁面により、歩行者などに圧迫感・威圧感を与えている



・前面に大開放の窓を配置し、開放感がある  
・建物の分節化や低層階のセットバックにより、圧迫感・威圧感を軽減している



・形態・意匠が奇抜で、周辺の閑静な住宅街に調和していない



・周辺の景観に調和した落ち着いた形態・意匠としており、良好なまちなみを形成している

◆ 色彩（外壁・屋根の基調色）



■ 周辺の自然環境と調和し、低彩度で、自然の四季の彩りを映えさせる落ち着いたものを用いること。



■ 低彩度で落ち着いた色調とし、周辺の緑を引き立てる色合い、集落景観と調和した色調とすること。

■ 伝統的なまちなみの残る地区においては、古くから民家等に用いられる色彩を使用するなどの工夫をすること。



■ 著しく彩度の高い色彩の使用を控え、周辺の景観と調和した色彩とすること。



■ 全体としてまとまりある景観とするため、周辺に多く用いられる色彩と類似した色彩を使用するなどの工夫をすること。



■ 歴史的景観としてまとまりある景観とするため、歴史的建造物に用いられる色彩を使用するなどの工夫をすること。



■ 低彩度で落ち着いた色調とし、壁面が長大な建築物等は、周辺景観に配慮し、圧迫感の少ない色彩とすること。

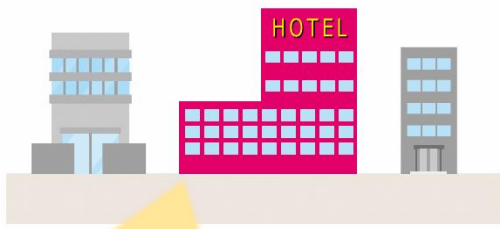
【解説】



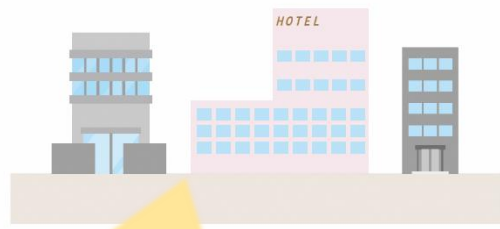
・ 奇抜な色が周辺の自然環境やまちなみに調和していない



・ 低彩度で、周辺の自然を生かしつつ、まちなみにも調和している



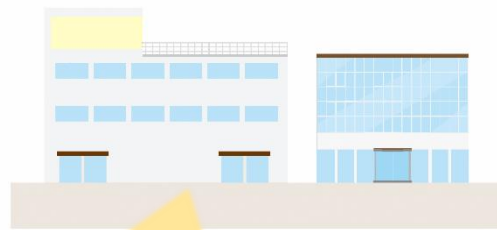
・ 著しく高い彩度が使用されており、周辺のまちなみに調和していない



・ 落ち着いた彩度が使用されており、周辺のまちなみと調和している



・長大な壁面に高い彩度を使用することで、歩行者などへ圧迫感を与えている



・長大な壁面だが、低い彩度を使用することで、歩行者などへの圧迫感を低減している



・周辺の建築物に調和しない著しく高い彩度を使用しており、まちなみにまとまりがない



・周辺の建築物に類似した色彩とすることで、まとまりのあるまちなみを創出している



・隣接する歴史的建築物と調和しない高い彩度を使用することで、歴史的趣が損なわれている



・隣接する歴史的建築物の色彩を使用することで、連続性のある歴史的景観を創出している

## ◆ マンセル値



- 景観に与える影響の大きい基調色<sup>※1</sup>について、マンセル値による色彩基準として、使用できる彩度を以下の通り設定する。

色相	R (赤)	YR (黄赤)	Y (黄)	その他
彩度	6 以下	6 以下	4 以下	2 以下

( P 3 6 「景観類型別色彩基準」 参照 )

※ただし、次に掲げるものはこの限りではない。

- ・ 歴史的又は文化的な理由により、社会通念上、使用が適当と認められる場合
- ・ 着色していない石材、木材、土壁、レンガ等で仕上げた場合

- 基調色でない場合においても、各壁面における色彩基準を超える色彩の面積の合計は、壁面全体の 5 0 % を超えないこととする。



- 景観に与える影響の大きい基調色<sup>※1</sup>について、マンセル値による色彩基準として、使用できる彩度を以下の通り設定する。

色相	R (赤)	YR (黄赤)	Y (黄)	その他
彩度	4 以下	4 以下	4 以下	2 以下

( P 3 6 「景観類型別色彩基準」 参照 )

※ただし、次に掲げるものはこの限りではない。

- ・ 歴史的又は文化的な理由により、社会通念上、使用が適当と認められる場合
- ・ 着色していない石材、木材、土壁、レンガ等で仕上げた場合

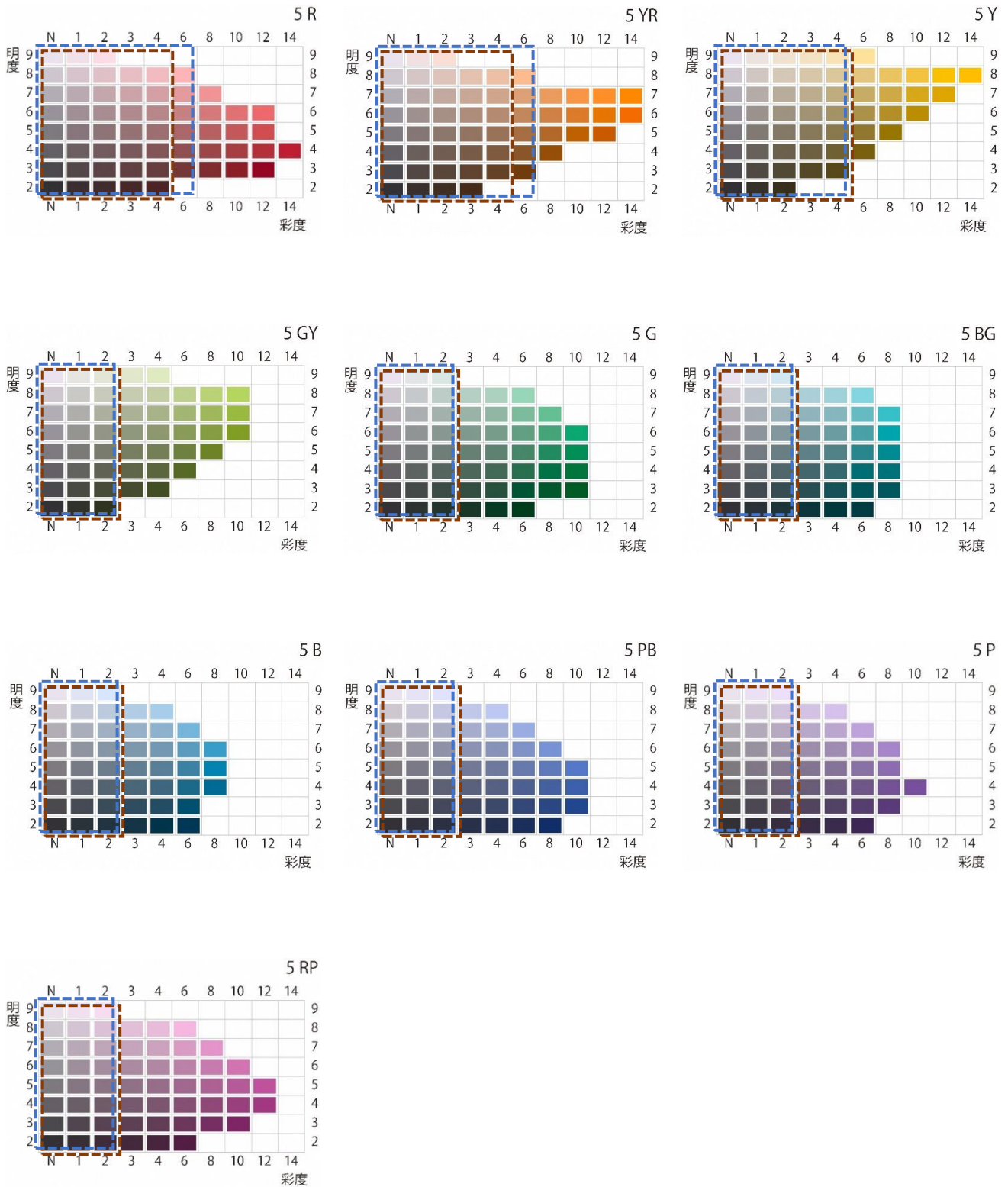
- 基調色でない場合においても、各壁面における色彩基準を超える色彩の面積の合計は、壁面全体の 5 0 % を超えないこととする。

### 【解説】



※1 基調色…各壁面において、占める面積の最も多い色彩（面積の算定方法については P 3 7 参照）

■ 景観類型別色彩基準（マンセル値による色彩基準）



   : 伝統市街地景観  
   : 伝統市街地景観以外の景観類型

## ■ 「基調色」の面積算定方法

### ➤ 基調色の定義

建築物や工作物の各壁面において、占める面積の最も多い色彩

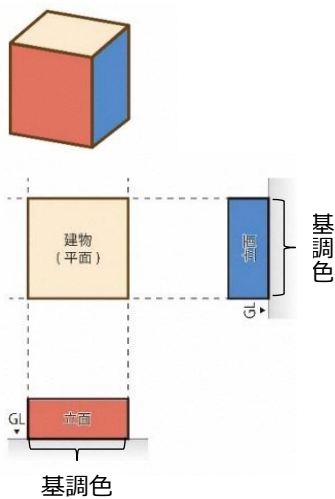
### ➤ 基調色に関する景観形成基準

- ・ 基調色は、景観類型別のマンセル値による色彩基準を満たすものとする。
- ・ 基調色でない場合においても、各壁面における色彩基準を超える色彩の面積の合計は、壁面全体の50%を超えないものとする。

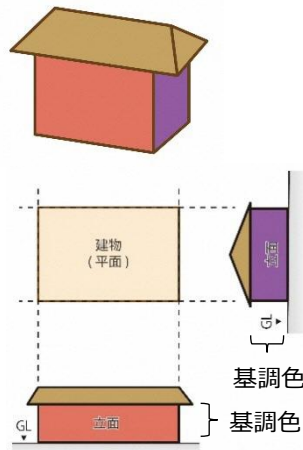
上記の下線部に示す「面積」の算定方法は次のとおり。

- ・ 算定の対象：各壁面における鉛直投影面積
- ・ 算定時の留意点：入り組んだ形状を有する場合は、鉛直投影上見えなくとも、同じ側を向いている各面を面積算定の対象とする。

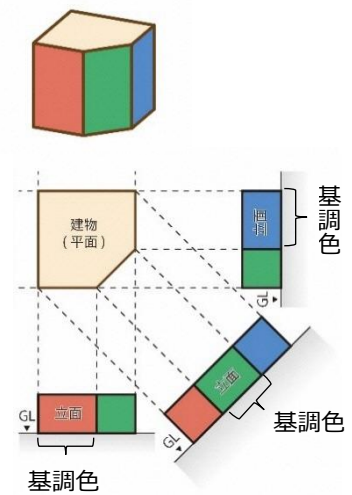
### 【整形の場合】



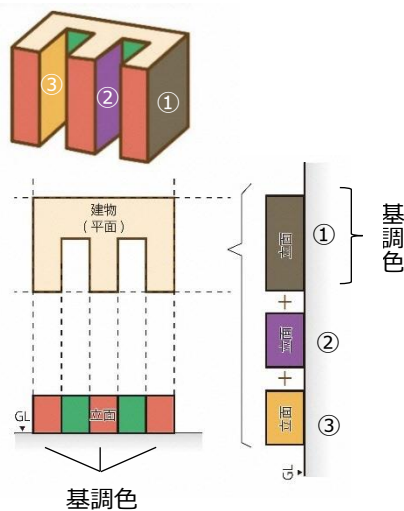
### 【傾斜のある屋根を有する場合】



### 【隅切りの場合】

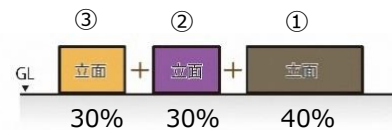


### 【入り組んだ形状を有する場合】



### ◇ 色彩基準の適用についての考え方

(入り組んだ形状を有する場合の例)



- ・ ①は基調色のため、色彩基準外の色彩は不可
- ・ ②、③の壁面を占める合計の割合は、50%を超えるため、両方への色彩基準外の色彩は不可



## ◆ アクセント色

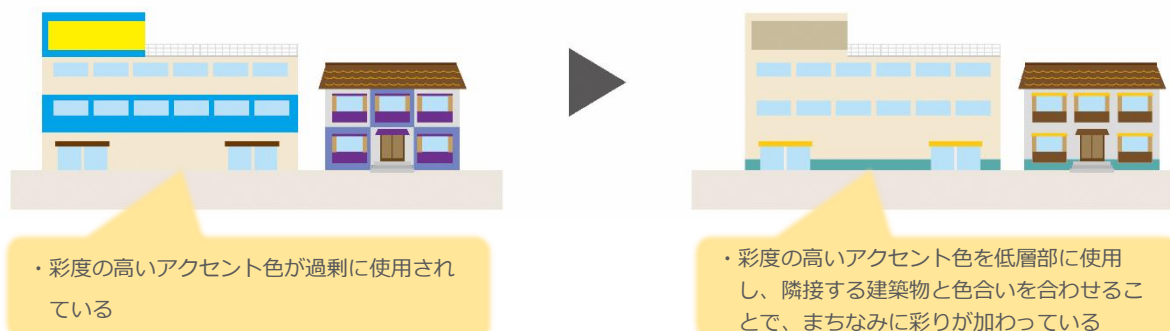
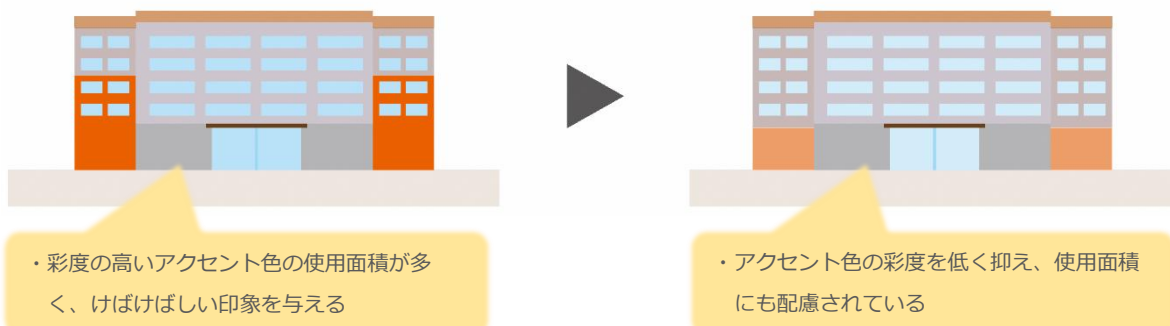


- 彩度の高いアクセント色の使用はできるだけ控え、組み合わせや使用面積のバランスに配慮すること。



- 彩度の高いアクセント色を建築物の低層部に使用するなど、まちなみに彩りを加え、賑わいを創出すること。
- 彩度の高いアクセント色を使用する場合は、組み合わせや使用面積のバランスを工夫し、過剰に使用しないこと。

### 【解説】



## ◆ 素材（外壁・屋根）



- 耐久性のあるものの使用に努めること。
- 地域特有の材料を用いるように努めること。



- 低層部には、伝統的素材や自然素材を用いるなど、周辺との調和に配慮すること。



- 周辺に歴史的資源がある場合は、低層部に伝統的素材を取り入れるなど、周辺との調和に配慮すること。

【解説】



・伝統的素材や自然素材を取り入れておらず、周辺との調和に配慮していない



・伝統的素材や自然素材を取り入れ、周辺の歴史的資源に配慮している

◆ 素材（反射材）

山岳自然	山麓自然	谷地自然	果樹・田園	田園内産業	中心市街地	伝統市街地	沿道商業	市街地住宅
------	------	------	-------	-------	-------	-------	------	-------

■ 反射率の高い素材は、極力使用しないよう努めること。

山岳自然	山麓自然	谷地自然	果樹・田園	田園内産業	中心市街地	伝統市街地	沿道商業	市街地住宅
------	------	------	-------	-------	-------	-------	------	-------

■ 反射率の高い素材は、壁面の大部分には使用しないこと。

山岳自然	山麓自然	谷地自然	果樹・田園	田園内産業	中心市街地	伝統市街地	沿道商業	市街地住宅
------	------	------	-------	-------	-------	-------	------	-------

■ 反射率の高い素材は、周辺との調和に十分配慮して使用すること。

山岳自然	山麓自然	谷地自然	果樹・田園	田園内産業	中心市街地	伝統市街地	沿道商業	市街地住宅
------	------	------	-------	-------	-------	-------	------	-------

■ 歴史的資源の周囲や歴史的まちなみの残る場所においては、反射率の高い素材は使用しないこと。

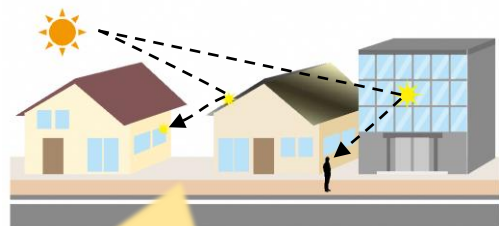
【解説】



・反射率の高い素材を使用しており、山並みの眺望を阻害している



・山並みの眺望に配慮し、反射率の高い素材の使用を控えている



・反射率の高い素材を使用しており、隣家や歩行者等への光害となっている



・反射率の高い素材を使用していないため、周辺への光害がない

### ③外構等

#### ◆ 門塀



■設置の際は、沿道のまちなみとの一体感や連続性に配慮すること。



■素材は、生垣、木材、石材等の自然素材を用いるなど、自然景観に配慮すること。



■素材は、生垣、木材、石材等の自然素材、古くから民家等に使用されている素材を用いるなど、集落景観に配慮すること。



■素材は、生垣、木材、石材等の自然素材、歴史的資源等に使用されている伝統的素材を用いるなど、伝統的景観に配慮すること。

#### 【解説】



- ・歴史的建築物の形態・意匠を生かした門塀となっておらず、良さが生かされていない
- ・コンクリートの塀により、冷たく閉鎖的な印象を与えている



- ・歴史的建築物の形態・意匠を生かした塀により、建築物の良さが生かされている
- ・生垣や植栽により、明るく開放的な印象を与えている

#### ◆ 駐車場や車庫、駐輪場

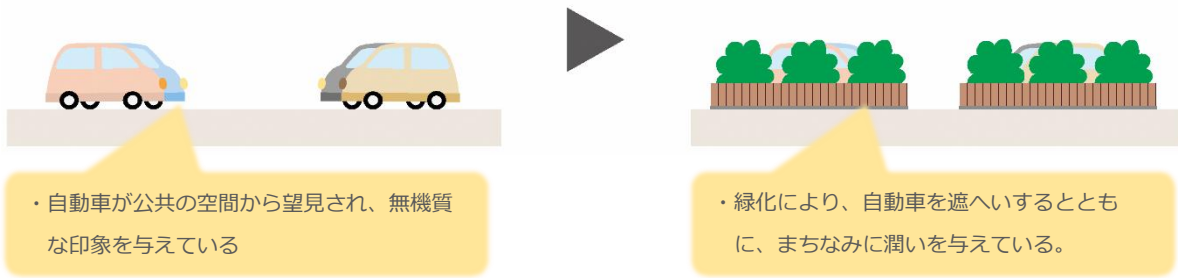


■設置の際は、周辺の景観と調和した緑化や塀等により、まちなみの連続性の確保に努めること。



■設置の際は、できる限り道路から見えにくい位置に配置し、見える位置になる場合は緑化などにより、周辺の景観へ配慮すること。

【解説】



◆ ゴミ置き場



■ 設置の際は、できる限り道路から目立たないようにするなど、景観的配慮に努めること。

【解説】



◆ 敷地内緑化



■ 敷地際はできるかぎり緑化を図り、周辺環境との調和を図ること。



■ 敷地外周部に高木、中木、低木をバランスよく配置するなど、開放的で明るさが感じられる景観の形成に努めること。



■ オープンスペースはできる限り緑化を図ること。

■ 大規模な建築物が道路に面する場合は、敷地際の緑化や壁面緑化により、周辺への圧迫感の軽減に努めること。



■ 歴史的なまちなみに調和した緑化に努めること。



■ 大規模な建築物が道路に面する場合は、敷地際の緑化や壁面緑化により、周辺への圧迫感の軽減に努めること。

【解説】



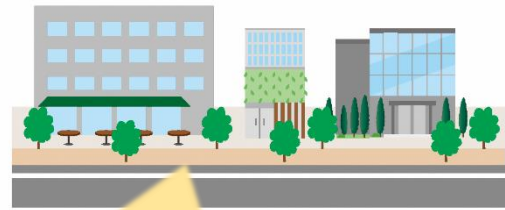
・コンクリートの塀が設置され、緑が少ないため、殺伐とした印象を与えている



・生垣や植栽により緑化されているため、明るく開放感のある景観を創出している



・緑化が少なく周辺への圧迫感がある



・緑化が図られ、周辺への圧迫感が低減されているとともに、潤いのある歩行空間が創出されている



・歴史的まちなみを考慮した緑化がなされていない



・歴史的まちなみに調和した樹種による緑化により、良好な景観を創出している

◆ 樹木の保存

山岳自然

山麓自然

谷地自然

果樹・田園

田園内産業

中心市街地

伝統市街地

沿道商業

市街地住宅

■敷地内に大木や古木、良好な樹林等がある場合は、保存に努めること。

【解説】



・良好な景観を創出していた樹木について、管理が行き届かず、枯死してしまった



・敷地内の大木を適切に管理することで、良好な景観の保全が図られている

◆ 植栽



■ 新たな樹木を植栽する場合は、周辺の自然林の植生と調和した樹種を選定すること。



■ 新たな樹木を植栽する場合は、周辺の樹林や街路樹と調和し、地域の風土や植生にあったものとする。

【解説】



・ 植栽が周辺の自然林や建築物と調和しておらず、違和感のある景観となっている



・ 周辺の自然林や建築物に配慮した樹種を植栽しており、良好な景観を際立たせている

④ 設備

◆ 屋上付帯設備



■ 屋上付帯設備を設置する場合は、公共の場から見えないよう工夫するか、目立たない意匠となるよう工夫すること。

【解説】



・ 公共の場から屋上付帯設備が望見され、雑然とした印象を与えている



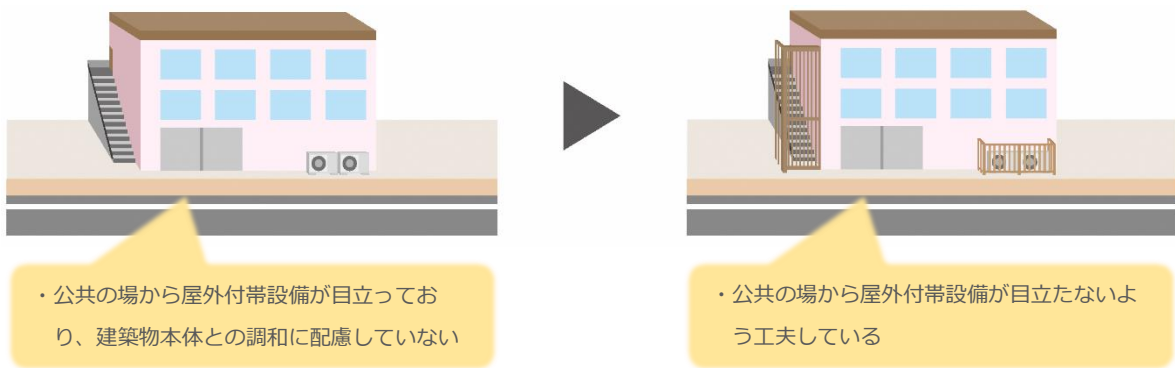
・ 公共の場から屋上付帯設備が目立たないよう工夫されている

◆ 屋外付帯設備



■ 屋外付帯設備を設置する場合は、公共の場から見えないよう工夫するか、建築物本体との調和に配慮した意匠となるよう工夫すること。

【解説】



⑤景観重要建造物・樹木への配慮

山岳自然	山麓自然	谷地自然	果樹・田園	田園内産業	中心市街地	伝統市街地	沿道商業	市街地住宅
------	------	------	-------	-------	-------	-------	------	-------

■周囲に景観重要建造物又は景観重要樹木がある場合は、景観重要建造物の形態・意匠、歴史・文化性、地域性又は、景観重要樹木の樹高・樹形、歴史・文化性、地域性等に配慮し、当該建造物又は樹木を生かした景観の創出に努めること。

【解説】

